

国際ロータリー第2700地区行橋みやこロータリークラブ



「変化につよく、未来をひらく」

2024-2025年度 第2700地区
ガバナー 野崎千尋

『よりそう』

2024-2025年度 行橋みやこRC
会長 村上哲二

本日のプログラム

- ◆開会「点鐘」
- ◆ロータリーソング「奉仕の理想」
- ◆お客様・ビジターご紹介
- ◆会長の時間
- ◆幹事報告・委員会報告
- ◆青少年育成委員会
- ◆ニコニコBOX
- ◆閉会「点鐘」

3月の月信 ホームページ



3月は水と衛生月間

【青少年育成委員会 委員長 友住優介 活動方針】

周防灘野球大会や優良青少年表彰を行うことで、青少年の活躍できる場所や目標となるよう活動を行います。

また、広報と協力しロータリーの活動がより多くの方に周知いただけるようにします。

例会予定

- ◆3月19日(水)社会奉仕委員会
- ◆3月26日(水)会員増強出席奨励委員会
- ◆4月2日(水)創立記念41周年
- ◆4月9日(水)広報公共イメージ
(外部卓話)

出席報告

会員数:52名 メークアップ:0名
欠席者:17名 出席率67.39%

お客様:

3月のお誕生日

長尾浩央R(10日)・木村謙一R(13日)
上野優二R(16日)・田中聰樹R(18日)
岡崎慎一R(25日)・秋山高広R(28日)

石塚千菜美様・金澤真弓様
寺崎景子様・村上沙央理様

【会長の時間】



3月3日に築城特別支援学校高等部の卒業式に招かれましたので、クラブを代表して出席してきました。来賓は教育委員会などの関係者ばかりで、我々のような団体は他には呼ばれて

いませんでした。学校が我々をどの様に思っているか、分かるかと思います。

卒業式では卒業生の緊張感も有りながら、和やかな雰囲気の中、卒業生26名全員が一人ずつ卒業証書を受け取り立派に卒業しました。保護者の中には涙ぐむ方も多く、それぞれが様々な思いで卒業式に臨んだのだと感じました。

生徒たちを見ていて思ったのですが、我々が彼らを対

象とした奉仕事業を行うとき社会奉仕事業として行うと思います。他の子供たちを対象にしたら青少年奉仕事業として行うことがほとんどです。他クラブの特別支援学校への奉仕事例を見ても青少年奉仕として行っていない。どちらでも構わないかもしれませんが、なぜだろうと考えていました。

特別支援学校への支援は学校に対して行う、学校全体を主体として行っており、最終的な受益者は生徒になりますが学校全体への支援として行っています。一方、我々が行う野球大会や青少年表彰などの青少年奉仕は直接青少年個人に対して事業を行っているかと思えます。特別支援学校は文字通り、特別な支援が必要な生徒ばかりです。我々が直接何か行うのは難しく、やはり学校全体を対象とした事業になります。何か事業を行うとき、どの委員会で行うか迷いますが、色々な見方で考えなければと思いました。

帰り際に校長先生からお礼と感謝の言葉を言われました。今日の事は会員に伝え、我々に何かまた支援が出

- 創立…1984年4月3日
- 例会日…水曜日(12:30~13:30)
- 例会場…みやこホテル Tel 0930-23-1800 行橋市宮市町9-18
- 事務局…〒824-0005 行橋市中央1丁目9-50(行橋商工会議所 別館1階)
TEL0930-25-0655 FAX0930-25-5700 E-mail:info@ym-rotary.club

- 会長……村上哲二
- 副会長……石田之茂
- 幹事……松井明男
- 会報雑誌委員長…村上歩己
- URL: <https://ym-rotary.club>

来ないか考えますと伝えました。支援学校の生徒たちに何か支援が出来ないか、ぜひ皆さんの知恵を出し合って検討していただきますよう、お願いいたします。

【幹事報告】

皆さん こんにちは。本日、例会終了後に隣の写場で理事会を行いますので、理事の皆様は速やかに写場の方までお集まりください。本日は以上になります。

青少年奉仕委員会

皆さんお疲れ様です。青少年育成委員会からです。まず周防灘野球大会が今週の3/8土曜日。集合時間、集合場所は中山グラウンドに8時をお願いします。集合して例会の方はすぐにさせてもらうような形で計画しております。例年通り田中ロータリアンのレザックスさんに協力をいただいて備品の方を準備させていただいております。また今回、第二十回大会ということで、記念品として企画されたも物品も事務局の方に届いております。今回、盛大に開催できるような形で計画をさせていただいて工藤市長の方も当日参加していただけるということです。市長の方に始球式をしていただいて開会式の方をさせていただくということになっております。懇親会の案内と閉会式の案内を本日流させていただいております。懇親会は3/8の18時半からで「原ちゃんち」という居酒屋の方で行います。今確定している先生達が15人参加していただけるということなので、皆様、参加できる方はよろしくお願いします。以上です。

出席奨励 会員増強委員会

出席奨励会員増強委員会からです。前回の例会出席率57.69%となっております。本日はたくさんの会員さんがいらっしゃってますので、これを超えることはもう間違いないかと思います。で、先ほどプログラム委員長からもありました通り、3月26日 水曜日がオープンロータリ例会となっております。趣旨が内容の濃いもので少し硬くなっておりますが、お知り合いの方を連れてきていただいてロータリーっていうのはまあこんなもんだよ、ぐらいの柔らかい気持ちで皆さまにロータリーを知っていただける。あわよくば入



会していただける、そういう例会にしていきたいと思っております。大功労者 吉松ロータリアンの手助けによりまして 福銀さんの卓話 があります。会員の皆様にも面白い話になると思いますので、出席率の方もなるべく100に近いものを希望しております ので、よろしくお願いいたします。

プログラム委員会

皆様、こんにちは。プログラム委員会からです。今月のプログラムの確認として4月のプログラムの確認をさせていただきます。まず3月5 本日、会報雑誌委員会の内部卓話。そして3月12日が表記されておりますが、青少年育成委員会で野球大会。先ほど村上会長の方からお話でございました通り、今週の土曜日3月8日に移動例会で例外変更となっておりますので、お間違いのないようにお願いします。3月19日社会奉仕委員会、外部卓話。で、3月26日は会員増強出席奨励委員会ということで、オープンロータリーとなっております。で、うちのクラブ以外で、先ほど村上会長の話の中で、台北朝陽ロータリクラブの32周年に会長がご出席される予定です。そしてまた第二十回周防灘中学校野球大会、そして会長エレクト研修セミナーです。29日、30日でペッツがあるというふうになっております。

まず、4月5日、創立記念41周年。観桜例会となっております。そして4月9日、広報公共イメージ委員会、4月16日が4/12、4/13の地区大会の方に例外変更になっておりますのでお間違いの内容にお願いいたします。で、4月23日ロータリー情報研修委員会、外部で卓話。4月30日が休会となっております。担当委員会の委員長はじめ委員会のみなさまよろしくお願いします。以上です。

【本日のプログラム】 会報雑誌委員会

皆様、こんにちは。今回の内部卓話は、前年度に卓話をしていただいた西村Rにお願いしました。内容としましては地球の歩きかたのパート2をお願いしたのですが、最近には前に出て話す事が多いとの事で趣旨を少し変えて面白くしていただきました。よろしくお願いします。



人生は、よく旅にたとえられる。道に迷ったり、落とし穴があったり、マサカの坂道に疲れて倒れ込んだり、紆余曲折である。前回の「地球の歩き方」時代の、マサカ

の話の続きである。40年以上前、日本からヨーロッパへはアラスカ州、アンカレッジ経由でハブ空港のフランクフルトやパリ・ド・ゴール空港へ向かう。

アンカレッジの空港の近くには、マンキンリーの真白な美しい山を見ることができた。

1980年東京-ヨーロッパの正規航空運賃は片道321,800円往復で60万円バックパーカーは、格安航空券を求め往復20万円弱のチケットを求める。

私は、「地球の歩き方」で働いていたので、空飛ぶ高級ホテルと言われたパン・アメリカ航空で、24時間かけてヨーロッパへ

皆さんユーラシア大陸の最西端（ポルトガル、ロカ岬の）最後の文字は、当時、なんという文字だったかご存知ですか？

正解は、「ロータリーマークとロカ・ロータリークラブのようこそロカ岬へ」

その先は、岸壁から見える大西洋の荒々しい装大な風景のみ？

イベリア半島（スペインとポルトガル）には、4回訪ずれた。初めてのバルセロナでの出来事-午前中にホテルを見つけチェックインを終え、重い荷物をホテルに預け、街をせんさく中日本人の「誰か助けて！やめてくれ！」の悲鳴の声！

私とか同じくらいの年齢のやせた男の子が、誰かを追っかけている現場にそうぐう。3~40メートル前には、でっかい男が大きな荷物をわきに抱え込んで走っている。その日本の男の子と一っしょに、ツブロック〜スリーブロック追いかけたが…姿が消えた、もう無理だ！とあきらめかけた。その時、路地の入口に、彼の荷物を発見！荷の中のパスポート、その他貴重品を含め、すべて手元に戻ったのである。置き引きに会って、必死に走っていたという理由であった。もちろん、その後、パブでごちそうになったのは、あたりまえであった。

海外でびっくりしたこと

二十二豊

1998年、旧東欧圏を旅しました。ポーランド、スロバキア、ハンガリー、ルーマニアを短期間に動



き回る旅でした。全てかつてのワルシャワ条約機構から、冷戦終了後にNATOに加盟した国々。ソ連崩壊後7年しか経っていないのに、鉄のカーテンなんてウソのよう

な話に思えました。ワルシャワで、「あのビルはソ連が建てました。醜いでしょう？」なんて声も聞いて、ソ連の影響下を離れ、とても自由に生き生きとした空気を感じました。

まず最大の目的の一つが、ポーランドのアウシュビッツ強制収容所を直接この目で見てくこと。ワルシャワの南300キロにクラクフという京都のような歴史のある都市があり、そこからさらに50キロ、オシフィエンチムという町があります。ドイツ語読みでアウシュビッツです。

ナチス・ドイツが第

二次世界大戦中に国家を挙げて推進した人種差別による絶滅政策（ホロコースト）および強制労働により、400万人以上の犠牲者を出した強制収容所です。収容者の90%がユダヤ人でした。他にはロマ（いわゆるジプシー）や政治犯、精神障害者、身体障害者、同性愛者、捕虜だったということです。隣にあるビルケナウ収容所と合わせて、全敷地が博物館となっていて、当時の様子がよくわかるように保存されています。

正面入口に「Arbeit macht frei」と書かれた門があります。「働けば自由になる」というドイツ語ですが、ここから出ることができた人はわずかです。Bの文字がさかさまにつけられていて、せめてもの抵抗だったと言われています。

列車に乘せられて連れてこられた人たちは、労働できる者、できない者に選別され、役に立たないと判断されたものはガス室に送られました。

博物館には、おびただしい数のクツやカバン、メガネや義足・義手が展示されていました。女性の髪の毛は織物にされ、収容者の寝具として毛布代わりに使われたといひます。

ちょうどイスラエルからの学生の団体と一緒にになり、銃殺が行われた壁の前に花を手向け、追悼と平和のメッセージを朗読していました。私たち



もここで黙とうをささげました。

ポーランドからスロバキアを抜けハンガリーへ行き、ルーマニアに行きました。シゲットという、落ち着いた小さな都市に滞在。その町にはユダヤ人墓地があり、そこには「石鹼の墓」がありました。



人体の脂から作られた石鹼です。収容所で支給されたということですが、そんなもの使えません。生還した人がこの町に持ち帰り、この石鹼の墓をつくったということです。胸に迫るものがありました。

さて、今日のテーマの「海外でびっくりしたこと」ですが、ルーマニアのサトゥマーレというところの、古城を改装して作ったホテルに泊まりました。さすがお城だったということで、食堂の天井は高く風格のあるものでした。

その晩のこと、私はワインもたくさん飲んでぐっすりと眠っていたのですが、夜中に目を覚ますと、ベッドの横の椅子とテーブルがひっくり返っていました。

泥棒でも入ったのかと思い、バッグを調べましたが、財布もパスポートも無事。ドアを確認するとちゃんと施錠してあります。しかし、バスルームに行くと床中水浸し。この時ばかりは、本当にびっくりし、背筋が凍る思いがしました。

ルーマニアはドラキュラの国。幽霊の出る国として有名です。翌朝、同行のルーマニアの研究者の人に夜中のことを言うと、「ここは昔お城でしたからね。私は信じますよ」と言われてさらにゾッといたしました。この旅に同行した方の文章を私の個人サイトに載せています。

私がインドに行った時の私の文章もありますので、お時間のある方はご覧になってください。



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1、**真実**かどうか
- 2、みんなに**公平**か
- 3、**好意**と**友情**を深めるか
- 4、みんなの**ためになる**かどうか

ニコニコBOX

石田之茂R: 西村R楽しい卓話ありがとうございました。ニコニコします。

田中聰樹R: 銀行借入れが電子決済や4月からクレジットカードに暗証番号が必要等面倒な社界になりつつあります。

松井明男R: 西村Rありがとうございます。

金澤隆R: 良い人誕生日頂きました。ありがとうございました。

寺崎修司R: 良い人誕生日頂きました。ありがとうございました。

織方正憲R: 明日から台湾朝陽ロータリーの式典に参加いたします。ニコニコします。

西村勝R: ビックリ旅行の話ありがとうございました。

村上歩己R: 西村R山田R二十二R卓話ありがとうございました。

藤原妃呂R: 皆様の海外での経験話楽しかったです。

村上哲二R: 明日から台湾式典に行つてまいります。

工藤茂美R: 西村R山田R二十二R卓話ありがとうございました。

二十二豊R: 卓話ありがとうございました。

山田千恵R: 卓話ありがとうございました。第三回目に続きます。

長尾浩央R: 本日の週報に築城の特別支援学校の謝意が綴られていました。RCの対外広報の一つの結果であり良い例と思います。

有門信芳R: ニコニコします。

ニコニコBOX

3月5日の合計14,500円

累計 450,500円

近隣R・Cへのメークアップのご案内

月曜日・・・小倉中央R.C 「リーガロイヤルホテル小倉」
火曜日・・・行橋R.C 「みやこホテル」
火曜日・・・小倉南R.C 「リーガロイヤルホテル小倉」
水曜日・・・田川R.C 「料亭 あおぎり」
水曜日・・・小倉東R.C 「ステーションホテル小倉」
木曜日・・・豊前R.C 「ニューいずみ」
木曜日・・・苅田R.C 「豊前海水産会館」
金曜日・・・小倉R.C 「リーガロイヤルホテル小倉」
金曜日・・・豊前西R.C 「築上町リサイクルプラザ」

会報雑誌委員会



私の旅行体験(海外編)

こんにちは、みなさん。私が30歳の時、毎年海外旅行に行こうと決めました。そのきっかけを作ってくれたのは英語の個人レッスンを受けていた先生で九州女子大学のイギリス人講師でし、た。その先生がオーストラリアのシドニーの大学に勤め始めたので福岡から直行便にてシドニーを訪れたことを話します。33年前の事です。单身、シドニーに行くのは冒険みたいでわくわくしたのを覚えています。友人の彼女は昼間、大学で教えていたので暇を持て余していた私はブルーマウンテン日帰りバス旅行にトライしました。もちろん日本人は私のみで回りは外国人だらけ、日本語はどこからも聞こえてきませんでした。ブルーマウンテンツアーは富士山麓の樹海のような広大な森林のなかにそびえる岩山を見に行くものです。その岩山を見るのにロープウェイに乗るのですが、驚くことにそのロープウェイは手動で係の人が『せ〜のお』で押して動き出すのです。ゴンドラには窓がないので風がビュービュー吹き込んできました。眼下にはどこまでも深く森林が埋まっている谷底しか見えなくて、もしアクシデントがあれば私はどうなるかすぐに判る状況でした。そんな怖い思いをして観光は無事に終わり、友人宅に戻るにあたって1人電車・バスに乗るのですが、何せ初めての土地で土地勘もあるはずはなく、わずかな記憶を頼りにバスを降りたのです。案の定道に迷ってしまいました。辺りはすっかり暗くなり周りは明かりも見えない状況で、夜道をどこに行くかわからない田舎道をとぼとぼ歩いていました。遠くに学校のグラウンドの明かりが見えていたので、そこにいる人に助けを求めようと樂觀していました。結果として、明かりもない夜道を独りで歩いているのを心配してくれた優しい人が車に乗せてくれ

たので、無事に友人宅まで連れて行ってくれました。本当に悪い人に遭遇しなくてラッキーでした。今、思い起こしてみても背筋が凍る思いがします。何せ知らない人の車に乗るなんて今なら考えられないことです。『何とかなる』は幸運な出来事で終わって良かったとつくづく思っています。33年前は今のようにはスマホも無いので、自分の位置情報も交通情報もありませんでした。本当に今の時代は個人旅行に対してハードルが低くなったと言えます。しかし何も情報がないからこそいろんな失敗談や満足感が得られると思いました。これ以上は話が長くなるので、その昔、私が起こしたたくさんの失敗談は次回に続けたいと思います。以上山田でした。

良い人誕生日プレゼント

